

# 令和2年度事業報告書

法人の名称 NPO法人街の家族

## 1. 事業の成果

この報告書をまとめる時点（R3年4月）、街の家族の一般開放の交流日は、コロナ前の4分の1となり、火曜日と木曜日の午前中のみ、火曜日はシニアの日、木曜日は子育て世代の日としてご利用いただいています。見守りや色々な生活相談等の一般交流以外のご利用では、その都度電話やメール、SNSでご相談を頂きながら個別の対応をしています。

第1次、2次、3次緊急事態宣言、まん延防止法重点措置等、今後も続く新型コロナとの共存が不可欠な新しい生活の環境の中で、私達の活動の目的<日常の生活圏で三世代交流を中心にした生活福祉事業の具現化>に向けたこれからの事業活動の方向を考え、試み、活動の再構築へ向けた歩みを進める期間でした。

- ・一か所場で全て（食事づくり、食事を楽しみ、交流し、世代間の見守）を行う従来の活動のスタイルからの卒業と新しい活動への枠組の構築と出発進行へ！
- ・地域の色々な場>とそこにある<役割>の利用と協働の構築を進め
- ・ICTに代表される新しいツールを活用しながら、地域交流の新たな手法の組み込みと日常化を進め
- ・世代毎の役割を再認識しながら、新たな役割とサービスを提案し、リアル化を進め
- ・これらの活動を進める際の核となる役割のMC（事務局、サービスセンター）への認識を共有し、その充実と発展を図る。

★まちだより9月～R3.3月号（HPにアーカイブ掲載）<今月の街の家族から>のコラムに、毎月のこれらに繋がる活動の様子をまとめています。

9月：NPO法人街の家族発足にあたって（設立趣旨）

10月：もちよりお弁当スタイルの食事と交流

11月：「助あい、支え合える地域づくり～実践の現場で学ぶ！～」勉強会

12月：一つの場から地域に広がる多様な場での三世代交流を！、やってみようヨ！ハロウィン

1月：新年にあたり、新しい生活環境での活動に向けて

2月：新生活環境での活動に向けた①ICTの活用不可欠通信環境整備（横浜市公益活動緊急助成金）、②3密対応環境の整備（横浜市「新しい生活様式」対応支援事業補助金）を完成

3月：新しい生活様式でのR3年度の運営に向けて

HP  
訪問をお待ち  
しています！



【感謝】今、尚見通しが見つからない新型コロナ蔓延の状況下で空き家オーナーさんから<家賃の支払いを一時停止>へのご配慮を頂いており、これからの事業展開に向けて大きな力を頂いていることに感謝いたします。

<部屋の<外>での活動の様子>

地域の中でのハロウィン



クリスマスタイム、“街”の庭は大きなクリスマス飾りのある「交流広場」



クリスマス飾りは1ヶ月かけて皆で飾り付けました。  
プレゼントはシニア世代の手作りで

## 2 事業内容

### (1) 特定非営利活動に係る事業

#### ア 地域の生活福祉事業

##### ① 食と日常生活を中心にした三世代交流事業

- ・日 時 令和2年8月～令和3年3月
- ・場 所 青葉区奈良町及び隣接地域一帯
- ・従事者人員 6人
- ・受益対象者 一般市民
- ・支出額 465,686円

#### イ 子どもの健全育成を図る活動

##### ① 地域の子育て見守り愛事業

- ・内 容 子育て見守りを中心にした互助事業
- ・日 時 令和2年8月～令和3年3月
- ・場 所 青葉区奈良町及び隣接地域一帯
- ・従事者人員 4人
- ・受益対象者 一般市民
- ・支出額 465,686円

#### ウ まちづくり活動に関する普及啓発事業

- ・内 容 ホームページ、SNSを活用した情報発信及び地域情報誌発行
- ・日 時 令和2年8月～令和3年3月
- ・場 所 青葉区と隣接地域一帯
- ・従事者人員 2人
- ・受益対象者 一般市民
- ・支出額 252,943円